

拠出金名：国際農業研究機関拠出金

国際機関等名	国際稲研究所 (英文名称・略称) International Rice Research Institute (IRRI)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当課名	農林水産省農林水産技術会議事務局国際研究課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成21年度	24,474	238		1米ドル = 103円	100
平成20年度	25,607	227		1米ドル = 113円	100
平成19年度	27,526	237		1米ドル = 116円	100
当該拠出金の目的・用途等	研究プロジェクトの実施				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2009年のもの)				国際機関等の財政 (2009年度決算)	
	国 名	金額 (千ドル)	拠出率 (%)	当該年度の収入 49.9百万米ドル	
1位	日本	238	100	当該年度の支出 50.1百万米ドル	
2位				次年度への繰越 -0.2百万米ドル	
3位				会計検査機関名	
4位				PricewaterhouseCoopers Philippines	
5位				(Isla Lipana & Co.)	
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
IRRIとは従来から邦人専門家が滞在して共同研究を実施しており、節水栽培に適した品種改良、栽培技術開発等の成果が生まれている。稲の豊富な遺伝資源を有するIRRIは世界の稲研究の中心的な役割を果たしており、稲に関する研究蓄積を有する我が国と連携を密にすることにより、開発途上国の持続的農業の発展に貢献すると考えている。 また、IRRIを含む国際農業研究協議グループ(CGIAR)全体で効率性を高めるための組織改革が行われており、その一環として、コメに関する研究プログラムであるGlobal Rice Science Partnerships(GRiSP)を新たに立ち上げ、それに基づいてグローバルな研究課題を戦略的に取り組む方向で進めている。我が国としても高く評価しており、人的貢献など可能な協力を行いたい。					
邦人職員数 うち幹部以上	7人 うち 0人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	1,055人のうち国 際職員134人 国際職員中5.2%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
理事		岩元睦夫		(社)農林水産先端技術産業振興センター理事 理事は職員としてカウントされていない。	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
当該機関においては、現在15名の理事のうち1名が邦人理事となっていることのみならず、これまでも多くの邦人理事が選出されている。また、これまで多くの邦人研究者が送り込まれており、現在も邦人研究者が多く滞在し共同研究を進めている。 今後とも、IRRIの主要ポストに対し、邦人の雇用に加え様々な形態で邦人職員を派遣する等今後も積極的に邦人を送り込むための活動を行うこととしている。					